

2017年8月16日

東海大学 農学部長殿

特定非営利活動法人 地球生物会議(ALIVE)
〒160-0008 東京都新宿区三栄町6 オグラビル203号室
TEL:03-5315-4247/FAX:03-5315-4248
E-mail:alive-office@alive-net.net
担当:藤沢

貴大学農学部における

動物実験の管理状況と代替法の導入状況について

追加質問

先日は当会の質問書(5月1日付「貴大学農学部における動物実験の管理状況と代替法の導入状況について」)にご回答いただき、誠にありがとうございました。

貴大学のご回答(6月26日付)の中で、当会の以下の質問項目(1-2)に対して、「対象動物やギ、キシラジン製剤で鎮静後、電殺法によって安楽死させる。」とのご回答をいただいておりますが、本件につきまして、追加の質問がありますので、お手数をおかけし誠に申し訳ありませんが、FAXまたはメールでも結構ですので、再度ご回答をいただけないでしょうか。ご回答は8月末日までにいただけますと大変助かりますが、夏休み等で難しければ、9月中旬まででも結構です。どうぞよろしくお願い申し上げます。(ご回答は公表させていただく予定ですので、ご了承をお願いいたします。)

<当会の質問項目(5月1日)>

1-2. 中・大動物の殺処分について、どのような殺処分方法を用いていますか？(薬剤を用いる場合は薬剤名を含む)

<今回の追加質問> ※貴大学農学部としてお答えください。

貴大学のご回答中の「電殺法」とは、以下の北海道資料(P28,48-49)にある、電極プローブを用いた方法(電気ショックで失神後、心臓部へ通電して致死させる)で間違いないでしょうか？

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/tss/40/kachikueisei/FMDwkmanu4.pdf>

以上